

# ムーアカデミー通信



Aichi Kaisho Forest Center News Letter Since 2007



海上の森にも雪が積もりました。  
寒い日がまだ続いていますが、  
竹炭を焼く火は暖かいです。



炭焼き体験 (1月21・22日)

## 特集 海上の森はいま

### 平成23年度あいち海上の森大学閉校式

季節の変化をずっと見つめています

7年目に入った生物季節調査—海上の森の会自然環境調査グループ

**この人!** チョウを通して、見えてきた自然の不思議を伝えたい 高橋<sup>まさし</sup>匡<sup>まさし</sup>さん

#### 情報ライブラリー図書を紹介します

#### あいち環境絵本

ライブラリーには、「環境」をテーマにした手作りの絵本がいくつかあります。

これは愛知県（環境部）が平成19年度から毎年募集している「あいち環境絵本」の入選作品です。小学生の生徒さんの作品もあります。

小さな子供たちに、環境の大切さや自然のすばらしさを伝える絵本です。ぜひご覧ください。



特集 海上の森はいま

平成23年度あいち海上の森大学閉校式



紅葉がまだ残る あいち海上の森センターにおいて、平成23年12月3日、あいち海上の森大学の閉校式が行われました。第5期となる今年度は、23名（森林再生コース11名、国際交流コース5名、国際協力コース7名）の方が修了され、マリ クリスティーナ学長から修了証書が授与

されました。また、国際ソロプチミスト瀬戸の皆さんから国際交流コースの留学生に奨学金が贈呈され、増岡会長から激励の言葉をいただきました。



既に、NPO団体で活躍されている方、国際協力を実践されている方もいらっしゃいますが、閉校式に先立ち行われた意見交換会では、大学での成果を、それぞれ立場や地域等はどう活かしていくか、活発な意見が交わされました。そして、今後の活動について活動宣言を一人一人行いました。ご活躍が期待されます。

季節の変化をずっと見つめています  
7年目に入った生物季節調査  
—海上の森の会自然環境調査グループ—

海上の森では、NPO法人海上の森の会自然環境調査グループの皆さんが、平成18年から継続して、花が咲いた草や木、確認した野鳥や昆虫を、毎週木曜日に調査し記録しています。調査は、すでに6年を経過、270回を超えています。

調査の結果からは、いつごろ何が見られるかといったことがわかり、海上の森の花ごよみ等に利用しています。また、他地域との比較もでき、海上の森の自然の変化を知る重要な資料になると思います。

毎回の調査速報は、センター展示室、里山サテライトに掲示しています。海上の森のホットな情報をぜひご覧ください。なお、これまでの記録はすべてセンターでご覧いただくことができます。



その他の出来事・来訪者

今年も収穫感謝祭実施しました

11月30日、海上の里で、毎年恒例の収穫感謝祭がありました。里の教室の参加者、地域の方々、海上の森の会の皆さん等、沢山の皆さんが集まり、収穫に感謝し、餅つきや芋煮等で楽しい1日を過ごしました。



小川副知事、マリ名誉センター長も皆と一緒に参加

オーストラリア・ビクトリア州議会  
日本友好議員連盟代表団の訪問がありました

2月17日にブラッド・バティン下院議員始め6名がセンターを訪れました。海上の森の経緯や自然、取組について、紹介をしました。自然や保護に関して国の違い等が話題になりました。海上の森の保全や活用の取組に関心をよせられ、また森の幼稚園に興味を持たれ資料を約束された方もいました。







## <チョウを通して、見えてきた自然の不思議を伝えたい>

海上の森モニタリングサイト1000調査の会 高橋匡司さん

チョウとの関わりは小学5年生の時、担任の先生からサンプルのナイロン網をいただいたことに感激し、それ以来60年間趣味として観察や飼育を続けています。最近、日本と海を隔てた大陸との共通種の生態や習性調査でベトナム北部や東シベリアの樹林性ツンドラ地帯まで足をのびしています。長年、チョウ類動態分布を県内各地で調査していますが、それがきっかけとなり、愛知県・豊田市・春日井市などの希少昆虫類の調査・保全などに協力することにつながっています。

愛知万博が話題になり始めたころから海上の森に関わり、「海上の森 自然観察ガイドブック」の昆虫分野執筆担当になってからは、足しげく通うようになりました。

チョウのモニタリンググループのリーダーの一人として、月2回、海上の森の調査地で目撃した種と個体数を記録しています。これまでに県の46%に当たる61種を確認、キチョウ・ヒメウラナミジャノメ・イチモンジセセリなどが優占種、上位3種で50%(個体数)を占めること、上位にランクされるコムスジを含めた森林性の種が60%

を占めることなどが判りました。確認種数から計算すると、海上の森の調査地の自然度は指数110となり、“良好な林や草原”から成り立っているといえることとなります。

全国的に減りつつあるオオチャバネセセリが健在、北上東進の続くナガサキアゲハ・ムラサキツバメ・ツマグロヒョウモンがそれほど増加していない、アオバセセリやスミナガシの確認により近辺に食草が生育していると予測し新たに確認できたことなどは、メンバー全員で共有でき嬉しい体験となりました。

見えていない自然をより正確に知るためにも、海上の森の保全のためにも、豊かな自然を次世代につないでいくためにも、モニタリングを大勢の仲間とともに継続していきたいと思います。チョウを通して、見えてきた自然の不思議をも伝えていきたいと思います。

<プロフィール>1941年生。春日井市在住。日本鱗翅学会評議員・名古屋昆虫同好会会員・もりの学舎IPなど。チョウ類の動態分布調査をベースに、地元では環境まちづくり活動や自然観察会・ギフチョウの保全の会などを主宰。



### センター職員の随想ルー

## かたりべのひと言、 森の中の知り合いたち

センターに勤め始め、海上の森を歩く機会ができたことで、海上の森に来てはじめて見た植物や、今まで意識したことのない昆虫や樹木など、多くの生物を知ることができました。また、この草は先週花を咲かせていた、あの木は先月から実をつけている、といったふうに、森の中のよく通る道には一方的な「知り合い」がたくさんできました。

森の中では様々な生物たちが生活を営んでいます。意識して観察し、興味を持つことが無ければ、これらの生物とは名前も生態も知らない「他人」のままだったでしょう。相手を知っていれば、それらの生物を大切にしようという気持ちは自然と生まれてくる気がします。海上の森に来た際には、まずは道端の生物たちに目を向けて、多くの「知り合い」を作ってみてください。(R.K)

## 森のなかま

### ルリビタキ *Tarsiger cyanurus*

童話「青い鳥」は、幸せの青い鳥を探すきょうだいの話ですが、海上の森の青い鳥といったら、夏はオオルリ、冬はルリビタキです。

冬が近づいてくると、「ヒッ、ヒッ…」と高い鳴き声が聞こえるようになります。開けた場所ならジョウビタキであることが多いですが、林の中から聞こえてきたら、それはきっとルリビタキでしょう。

オスは、その名のとおり上面が鮮やかな青色でとても目を引きます。一方メスと若鳥は尾羽だけ青色で、上面は地味な褐色です。オスはきれいに青くなるまで数年かかるといわれ、生まれた翌年はメスと同じような色で繁殖するそうです。

ルリビタキのオスは、出会えばきっと幸せな気持ちになれる「青い鳥」ですが、その青色は、厳しい自然を生き抜いて歳を重ねた証とも言えるかもしれません。



↑オス ↓メス



# その他のお知らせ

## 幼児森林体験フィールドの入口について

幼児森林体験フィールドの2つの入口のうち、西側の入口を閉鎖します。

道路に土や落葉が流れないように草や木を生やすためのものです。

利用者の皆様にはご不便をおかけしますが、

子供たちが森の中で楽しく過ごす場所として引き続き、ご活用ください。



## 春のイベント情報



### 瀬戸万博記念公園「愛・パーク」開園3周年記念イベント 海上の森ワークショップ 平成24年3月24日(土)

#### ☆親子森のたんけん隊 「ふかふか森あそび」

時間・場所：第1回 10:30～12:00 第2回 13:30～15:00 海上の森『幼児森林体験フィールド』

参加対象：3～6歳の幼児と保護者

定員：各回先着20組

参加費用：無料(傷害保険料(1人30円)が必要です。)

申込方法：はがき、FAXまたはE-mailに①「親子森のたんけん隊」第〇回参加希望 ②住所 ③氏名 ④年齢 ⑤電話番号またはFax番号(②～④は参加者全員分)を記入し、期限までに下記の申込先へお申し込み下さい。

申込期限：2月1日(水)～3月6日(火) (当日消印有効) ※定員になり次第受付を終了します。ご了承ください。

#### ☆森のクラブ

時間・場所：10:00～15:00 あいち海上の森センター2階 工作室 ※当日受付を行います。気軽にご参加ください。

問い合わせ・申込先：あいち海上の森センター (〒489-0857 瀬戸市吉野町304-1 TEL: 0561-86-0606

FAX: 0561-85-1841 E-mail: kaisho@pref.aichi.lg.jp)

### 参加者募集(予告)

#### 山笑う季節 in 海上の森 植物・チョウ・鳥の観察と調査!

春の自然に触れ、楽しみながら、観察と調査を体験しませんか

海上の森の自然を見つめ続けるモニタリングサイト1000調査の会の皆さんが、春の海上の森をご案内します

日時：4月30日(月・振替休日) 10:00～15:00

主催：海上の森モニタリングサイト1000調査の会

共催：あいち海上の森センター、日本自然保護協会、NPO法人海上の森の会

\* 詳細は決まり次第センターホームページ等で広報します。

## 平成24年度 海上の森体験学習プログラム (予定)

イベント名	開催日	定員	対象
調査学習会 ー海上の森の植物ー	5/6(日)	30名	小学生以上、小学生は保護者同伴
森の楽校 ーすくすく森でことりと歌おうー 幼児対象の「森のようちえん」も同時開催!	5/12(土)	30名 20組	小学生以上、小学生は保護者同伴 幼児とその保護者
調査学習会 ー海上の森の野鳥ー	5/20(日)	30名	小学生以上、小学生は保護者同伴
里の教室(全9回1セット)	5/20(日)～	50名	小学生以上、小学生は保護者同伴
森の楽校 ーもりもり森でいきもの探そうー 幼児対象の「森のようちえん」も同時開催!	6/3(日)	30名 20組	小学生以上、小学生は保護者同伴 幼児とその保護者

\* このプログラムの開催時期・内容等については変更となる場合があります。なお、詳細が決定次第、あいち海上の森センターホームページ(<http://www.pref.aichi.jp/kaisho/>)及びセンター本館での掲示等によりお知らせします。

\* 参加受付は、プログラム開催日の2ヶ月前から2週間前まで(ただし、5月開催分は4月1日から開始)とし、定員を超える応募があった場合は抽選により決定します。(はがき、FAX 又は E-mail での受付とします。)

#### 編集後記

暦の上では春になりましたが、まだまだ寒い日が続いています。去年は様々なことがありましたが、しばらくすれば春が来ます。今年も、多くの生きものとの出会いがあることを願っています。

編集・発行 あいち海上の森センター(ムーアカデミー)

発行日 平成24年2月29日

〒489-0857 瀬戸市吉野町304-1

TEL: 0561-86-0606 FAX: 0561-85-1841

E-mail: kaisho@pref.aichi.lg.jp

URL: <http://www.pref.aichi.jp/kaisho/>

